学校番号	1007

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	実践数学α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	新課程　リンク数学演習Ⅰ・A　受験編　approach+basic（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習事項をさらに発展させ、受験問題にも対応できる力の定着をめざしましょう。
授業で扱う内容は、１年次での内容をさらに発展させたものとなります。予習→授業→復習の流れを確立させ、家庭学習時間も十分に確保できるようにしましょう。予習でわからなかったところを授業で確認し、復習で定着させることにより、次年度でのさらに発展的な内容の授業につながります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
問題演習を通し,数学Ⅰおよび数学Aに関する基礎的な知識・技能の習得をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
発展的な演習問題や,大学入試過去問を解くことにも挑戦し,論理的な思考力・判断力・表現力の定着をめざす。
【学びに向かう力、人間性等】
自発的,創造的に取り組む態度を養い,難題にも徹底的に向き合い,考え抜いて行動する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数学ⅠAに関する基本的な知識を身に付けており、解答に活かすことができる。	・基本的な事項を応用的に扱い、記述問題の解答を作成することができる。 ・１つの問題に対して複数の解法を考えたり、利用されている定義・定理を見つめなおすことにより、効率的に解答に至る手順を考え直したりしている。	・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		【数学Ⅰ】 数と式 2次関数 【数学A】 場合の数と確率	a: 学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b: 発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価 など 発表 など
2		【数学Ⅰ】 2次関数 図形と軽量 【数学A】 図形の性質	a: 学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b: 発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価など 発表 など

3		【数学Ⅰ】 データの分析 【数学A】 整数の性質	a: 学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に活かすことができる。 b: 発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に付けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価など 発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度